

2023 ななさと

㊗るほど ㊗っとく ㊗あ ㊗りくむぞ！やっぴ伸びる七里っ子！

四万十町立七里小学校

R5. 7. 11 (火)
第23号
文責：校長 川添
七里小学校

願い事が叶いますように！

7月7日の七夕に合わせて七夕集会を行いました。一人ひとり願い事を書いた短冊と手作りした飾りを縦割りの班で笹に飾り付けました。その笹の前で班ごとに記念撮影、「ハイ、チーズ！」



こよりを結びのが難しく困っている1年生を見かけて、**上級生がぞっと手を差し伸べて**くれていました。

みんなが
幸せになれますように。



おたがいの願い事に興味津々！短冊をうれしそうに見せ合っていました。



今年度も飾り付け用の笹6本を**河野通裕**さんが用意してくださいました。ありがとうございました。
短冊を飾った笹は、今年も1学期終業式まで児童玄関に飾っています。来校された際にご覧ください。

お昼休みに笹飾りを見ていると、一人の児童が、「校長先生、ぼくが短冊に『お母さんが元気になりますように！』って願い事を書いたら、叶ったよ。書いてよかった！」と、本当にうれしそうに教えてくれました。子どもたちの書いた願い事には、自分のことと同じくらい家族に関するものが多くありました。**子どもたちの心の中に家族のことを想う気持ちがしっかりと育っている**ようで、何だかほっこりしました。

「おおきなかぶ」の元気な音読発表に 1年生パワー全開！びっくり！感激！！



先週末、1年生の子どもたちが、「月曜日の3時間目に『おおきなかぶ』の音読発表会をするので、ぜひ聴きにきてください。」と招待してくれました。

音読発表会当日、教室に入ると、「うわ～緊張する！始まる！がんばろう！」というつぶやきが聞こえてきました。招待客は私一人だったのですが、子どもたちは、「スター誕生」のオーディション会場なみの気合いの入れようでした。音読発表会をゴールに決めて、学校やお家で何度も何度も繰り返し練習してきたからこそその心地よい緊張感だったようです。

発表が終わると、「意外に緊張せんかったね！普段通り読めたね！」と、友達同士微笑み合う姿がかわいかったです。

「おおきなかぶ」のお話は、ご存知の通りかぶを抜くために一人ずつ仲間が増えて、最後はねこがねずみを呼んできて、6人で力を合わせてやっとかぶをぬくことができたというお話です。音読を通して、みんなで一つのゴールを目指して自分の力をいっばいに発揮している7名のがんばる姿が、お話の内容と重なって、何だか胸にぐっとくるものがありました。

ひらがな学習を終えてまだ2か月足らずです。音読には個人差があって当然の段階だと思いますが、**生き生きと一生懸命頑張る姿はみんな同じでした。一人ひとりが自分らしいスピードで一步一步しっかり成長していると実感できている**からこそそのパワーを感じた音読発表会でした。



「読もっか」に掲載されたよ！ 7月9日付



さかなも人もえがお

山脇考士郎さん
(四万十町・七里小3年)

5月のある日、「読もっか」掲示コーナーの前に立って掲載された友達の作品を眺めながら、「**よっし、ほくもがんばってみる！**家で描いてこよう！」とイラスト用紙を1枚手に取った考士郎さん！

それから2・3日後、「できました！」と嬉しそうに見せてくれたのが今回掲載されたこのイラストでした。

ていねいに仕上げた作品は、編集部の皆さんの目に留まり、見事掲載となりました。おめでとう！



4月からの掲載作品が18枚になりました。